

令和3年度獨協埼玉高等学校・中学校事業活動収支内訳表

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	部門	獨協埼玉高等学校	獨協埼玉中学校	総額
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	659,213,980	386,901,670	1,046,115,650
	授業料	405,117,300	218,301,670	623,418,970
	入学金	79,280,000	70,000,000	149,280,000
	施設設備資金	104,890,008	59,160,000	164,050,008
	維持費	69,926,672	39,440,000	109,366,672
	手数料	15,932,200	36,925,000	52,857,200
	入学検定料	15,300,000	36,925,000	52,225,000
	証明手数料	632,200	0	632,200
	寄付金	11,286,073	4,656,300	15,942,373
	一般寄付金	8,956,000	3,700,000	12,656,000
	現物寄付	2,330,073	956,300	3,286,373
	経常費等補助金	298,620,020	96,223,330	394,843,350
	地方公共団体補助金	298,620,020	96,223,330	394,843,350
	雑収入	42,012,890	2,549,255	44,562,145
	施設設備利用料	3,407,189	1,590,201	4,997,390
	退職金財団交付金収入	936,000	0	936,000
	雑収入	37,669,701	959,054	38,628,755
教育活動収入計	1,027,065,163	527,255,555	1,554,320,718	
教育活動収支	人件費	747,674,027	307,711,891	1,055,385,918
	教員人件費	585,374,416	260,979,518	846,353,934
	職員人件費	113,363,846	24,561,243	137,925,089
	退職給与引当金繰入額	48,935,765	22,171,130	71,106,895
	教育研究経費	188,586,960	77,934,654	266,521,614
	消耗品費	11,259,837	4,462,355	15,722,192
	光熱水費	17,291,928	8,624,658	25,916,586
	旅費交通費	3,051,699	980,929	4,032,628
	印刷製本費	7,729,531	4,470,030	12,199,561
	通信運搬費	1,245,611	661,982	1,907,593
	奨学費	200,000	0	200,000
	学生生徒諸費	6,757,534	1,728,999	8,486,533
	研修諸費	1,462,361	658,389	2,120,750
	修繕費	2,286,754	5,841,712	8,128,466
	業務委託費	60,235,185	18,453,632	78,688,817
	支払手数料	3,826,855	1,347,585	5,174,440
	損害保険料	622,726	311,109	933,835
賃借料	6,708,654	3,975,552	10,684,206	
負担金	2,224,120	1,111,925	3,336,045	
行事費	1,606,849	606,040	2,212,889	
雑支出	1,057,232	392,338	1,449,570	
減価償却額	61,020,084	24,307,419	85,327,503	

科目	部門	獨協埼玉高等学校	獨協埼玉中学校	総額
事業活動支出の部	管理経費	34,768,148	19,625,850	54,393,998
	消耗品費	179,347	61,689	241,036
	光熱水費	1,931,685	963,466	2,895,151
	旅費交通費	247,389	29,131	276,520
	印刷製本費	468,044	235,838	703,882
	通信運搬費	1,311,298	668,901	1,980,199
	研修諸費	64,586	1,980	66,566
	修繕費	253,596	0	253,596
	業務委託費	4,218,205	2,013,726	6,231,931
	支払手数料	7,381,325	1,099,964	8,481,289
	損害保険料	304,698	79,067	383,765
	賃借料	552,432	183,156	735,588
	負担金	73,163	0	73,163
	公租公課	34,667	333	35,000
	広告費	11,965,987	13,295,226	25,261,213
	福利費	1,225,445	838,350	2,063,795
	雑支出	252,017	155,023	407,040
減価償却額	4,304,264	0	4,304,264	
教育活動支出計	971,029,135	405,272,395	1,376,301,530	
教育活動収支差額	56,036,028	121,983,160	178,019,188	
教育活動外収支	受取利息・配当金	30,912	0	30,912
	その他の受取利息・配当金	30,912	0	30,912
教育活動外収入計	30,912	0	30,912	
教育活動外収支差額	30,912	0	30,912	
経常収支差額	56,066,940	121,983,160	178,050,100	
特別収支	その他の特別収入	800,000	0	800,000
	現物寄付	800,000	0	800,000
	特別収入計	800,000	0	800,000
	資産処分差額	2,197,718	257,252	2,454,970
	機器備品処分差額	955,807	0	955,807
	図書処分差額	1,241,911	257,252	1,499,163
特別支出計	2,197,718	257,252	2,454,970	
特別収支差額	△1,397,718	△257,252	△1,654,970	
基本金組入前当年度収支差額	54,669,222	121,725,908	176,395,130	
基本金組入額合計	△5,042,589	△4,049,854	△9,092,443	
当年度収支差額	49,626,633	117,676,054	167,302,687	
事業活動収入計	1,027,896,075	527,255,555	1,555,151,630	
事業活動支出計	973,226,853	405,529,647	1,378,756,500	

[事業概要]

令和3年度事業名称	事業実績等
1. 教学関係	
1) 国際理解教育の推進及び外国語教育の充実	実施を予定していました姉妹校である Levin Intermediate School 校 (ニュージーランド) 及び Steinbart Gymnasium 校 (ドイツ) との交換留学、並びに San Rafael Dominican University 校 (アメリカ) における夏季語学研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止を余儀なくされました。高1全員を対象とした、宿泊を伴わないエンパワメント・プログラムについては、予定通り実施することができました。「語学の獨協」の精神を受け継ぎ、英語の4技能力の育成を一層推進するために、これまでと同様に、ネイティブ教員6名の体制を維持し、クラスを二分制した少人数授業を継続しました。更に、中3での多読プログラム、高1での全員参加型のスピーチコンテストを実施しました。また、4技能力育成の一環として、英検、GTEC、TOEIC などの外部試験の受験を積極的に進めました。加えて、国際的に多様な視点を経験するためにも、高校段階でのドイツ語学習の機会をこれまで通り維持しました。
異文化体験を通じての国際人の育成 生徒の外国語力の向上	
2) 自己点検評価とFD活動の推進 授業の質的向上	PDCA サイクルを通じて授業の向上を図るため、年度当初にシラバスを作成の上、各授業の目標、教材、指導方法、進度等を明確にし、授業を行いました。2学期末に予定していた生徒による授業アンケートについては、実施を見合わせました。
3) 自習環境の整備 自学自習の促進	自学自習力の向上等を目的とした、高2の希望者を対象としたサマーセミナーについては、校外での合宿形式を変更し、登下校ベースによる校内での実施に切り替えました。
4) 環境教育 壁面の緑化およびビオトープの維持・整備	オカワカムによる中学棟の壁面緑化を、引き続き行いました。また、ビオトープの維持・整備を図りました。
2. 管理運営関係	
1) ホームページの充実 情報発信力の向上	生徒募集活動効果の更なる向上を図るべく、訴求力のあるホームページ作りに取り組むと共に、積極的に活用し、情報発信力の一層の向上に注力しました。
2) スケール WEB 監視 生徒プロフ・掲示板・裏サイトの検索、監視	生徒プロフ、掲示板、裏サイトを検索・監視し、生徒のネットいじめ、トラブルの防止及び個人情報の保護に注力しました。
3) ICT 環境の更なる整備・活用	新型コロナウイルス関連状況を注視し、ICTを活用した適時適切な対応に努めました。校内LAN整備による生徒全員がChromebookを保有する体制が構築されており、授業体制等の一層の向上・多様化並びに学習効果の更なる向上に注力しました。加えて、情報の蓄積・共有化、情報伝達の効率化、個人情報の漏洩防止、等に取り組みました。